

会 議 録

1 会議名

平成27年度第11回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

平成27年10月28日（水）午後6時00分から午後7時45分まで

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員： 増田和昭（会長）、青山恭造（副会長）、
池田伸吾、泉 秀夫、伊藤邦雄、今井不二子、小林克美、佐藤光司、
田村利男、田村雅春、冨塚 毅、中澤武志、町屋隆之、丸山朝安、
三上正子（欠席2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任

8 発言の内容

【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【増田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：小林委員、佐藤委員に依頼

議題【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・資料「新水族館を活用したまちづくりの提案について【取組の検討案】」に基づき説明最初に「1：トイレの案内看板設置について」委員へ意見等を求める。

【青山副会長】

意見が3つの班から出てきたが、公衆トイレの場合は、「有料」だと勘違いする人がいるかもしれないので「公衆トイレ」という表示をしたほうが、区別がつくと考えている。

【増田会長】

他に意見等はあるか。

【田村雅春委員】

トイレの案内看板には日本語以外の表記も必要ではないか。

【増田会長】

それは良いことである。

他に、追加の意見はあるか。

【泉委員】

直江津だけで考えると有料トイレというのはほとんどなく、「トイレ」の表示も小さめにしていきたい。

【町屋委員】

トイレの看板は分かるが、大きく街なかに「トイレ」と表示するのはどうかと思う。あくまでも、「公園内のトイレ」として記載すればいいのではないか。

【増田会長】

今の意見は、予算要求する中ではかなり細かいことである。どういう表示にするかというのは、担当課で調整する部分だと思うので、そこまでは踏み込まないことにする。

例えば、この資料内で抜けていることは、公衆トイレは、通常、ほとんどが洋式トイレである。上越市は費用がないから3基ある内の1基だけ洋式トイレにするというのが2、3年前の実態であった。今どうなっているか分からないが、方向的にはそちらの方向であると思っているので、それも入れておいたほうがいいのではないかと思う。

他にどうか。

(意見なし)

【荒木係長】

「2：水族館への誘導看板について」委員へ意見等を求める。

【泉委員】

これについては大賛成だが、上越高田 I C や上越 I C を降りてから水族館まで、誘導看板を 1 度も見たことがない。

【増田会長】

他に意見等はあるか。

(意見なし)

【荒木係長】

「3：街なか・名所・旧跡への誘導看板について」委員へ意見等を求める。

(意見なし)

「4：渋滞緩和・安全対策について」委員へ意見等を求める。

【田村利男委員】

A 班の意見で「道路が狭く渋滞がある」とあるが、何故、狭くなっているのか。分かる方がいたら教えていただきたい。

— 委員同士で狭くなっている理由について意見を言い合う —

【増田会長】

どんな状況であれ、渋滞の原因になるので改善が必要である。

【池田委員】

エルマールの西側、海を背に下って来た所の交差点で、右折車と直進車が通行できるように少し広くはなっているが、2 台並ぶには狭く、渋滞の原因になる。

【伊藤委員】

都市計画道路であり、いずれは改善されると思う。

【増田会長】

他に意見等はあるか。

(意見なし)

【荒木係長】

「5：PR 策『インターネット、SNS（フェイスブック等）の活用』」について、委員へ意見等を求める。

(意見なし)

「6：PR策『人をまちに呼び込むための方策 「直江津」単独の海水浴場のポスターをつくる（大判サイズ）』について、委員へ意見等を求める。

【増田会長】

補足説明をすると、「現状（課題）」内に『上越市や上越商工会議所、上越観光コンベンション協会では現在、高田公園と春日山城跡を核とした観光振興に取り組んでおり…』と書いてあるが、これは「上越市第四次観光振興5か年計画」の中で、重点エリアが「高田公園と春日山城跡」と記載があるからである。

現在「第五次観光振興計画」の策定が進んでおり、近いうちにパブリックコメントに掛かるということである。内容については把握していないが、第四次と同じく変わっていないかもしれない。直江津区の住民や13区の方々は「何故、春日山や高田だけなのか」という思いを持っているのではないか。それぞれに予算配分し、その配分内で地域の人が工夫してやらなければ観光振興にならないと思う。

今、このように進んでいるということだけ御承知おきいただきたい。

私たちも、場合によっては意見をいう必要があると思っている。

他に意見等はあるか。

（意見なし）

【荒木係長】

「7：PR策『人をまちに呼び込むための方策 直江津の絵ハガキを作成する』について、委員へ意見等を求める。

（意見なし）

「8：PR策『人をまちに呼び込むための方策 トキメキ鉄道やしなの鉄道での直江津PR』について、委員へ意見等を求める。

【田村雅春委員】

電車内の中吊り広告について、一点付け加えたいが、北越急行やJR東日本にお願いすることも大事だと思う。

【荒木係長】

「9：PR策『マップの作成』について、委員へ意見等を求める。

【青山副会長】

我々のA班もマップについて考えていたが、取組内容について不明な点があったので、今回は意見として出さなかった。どこまで踏み込んだ中身にするのか。行政では、内容

が大分抑えられてしまう。産業振興課では、上越教育大学の学生が群馬県富岡市のマップを参考にして、まち歩きしながらマップを作る予定である。「我々が考えるマップには何の情報を入れたらよいのか」という迷いがあったので外したが、本当はD班と同じような考えである。

【泉委員】

東京マラソンのマップは畳むと小さいが、その情報量は上越市のマップより何十倍もある。これはプロの仕事である。今の段階で私は、予算のこともあるが、プロの方が作成したほうがいいのではないかと考えている。

【小林委員】

話は外れるかもしれないが、「ながの・にいがた！？うみやまイラストマップ」という長野県北部と新潟県上越市が立体的に描かれているマップがある。それを見ると、長野県は細かく書かれているが、上越市は細かく書かれていないように思える。私たちが長野県を見るには非常に面白い地図だが、長野県の人が上越市を見るとよく分からないと感じた。

【増田会長】

今後参考になるかもしれないので、事務局で一部でも入手していただきたい。

【中澤委員】

マップはとても大事なことで、是非、実現したいのだが、結局、相当な調査と知識量がないと詳細な地図はできないと思う。

現在、いろいろなマップがある。具体的に誰が作るのかという話もあるが、そうではなく、専門家に任せてマップを作ったらどうかと思う。

【増田会長】

行政が作ると、個々の商店の情報は載せられないという話になる。予算の問題はあるが、訪れた方が満足できるマップを作るには、プロにお願いしたほうがよい。場合によっては、名所めぐり専門のマップがあったり、飲食専門のマップがあったり。マップの種類も5種類くらいは必要かもしれない。そういう考え方で話を進めていったら良いと思う。

もう一つは、どこへ行ってもマップが手に入るという状況にしておくため、部数を多くし、上越妙高駅にも多めに置いたほうがよいと考える。

【泉委員】

プランニングの段階をプロに任せるとのことか。

【増田会長】

そうである。

【荒木係長】

「10：駅前観光案内所の整備」について、委員へ意見等を求める。

【泉委員】

駅前に大型ディスプレイがあったと思うが、今はどうなっているのか。

【町屋委員】

今は大きな看板が立っているだけである。

【泉委員】

そういうものを利用出来ると良いが、継続性がなかった。

【中澤委員】

落雷で壊れてしまった。生きていれば、駅前は明るいし、画は動くし、とても良かった。

【町屋委員】

あれは、寄贈品だったと思う。そのため、メンテナンス費用等を持っておらず、直そうと思っても直せるものではなかった。

【池田委員】

直江津駅前の看板で見ると、上越市関連の物は出ているが、上杉景虎が自害した鮫ヶ尾城等は出ていない。上越市を知ってもらうにはそういうものも必要だろうし、鮫ヶ尾城に行ってみたが、上越市の案内がない。先ほど、高田や春日山に直江津を宣伝するものが必要となると言っていたが、妙高市、上越市共にお互いの市について、きちんと宣伝する資料を置くべきだと思う。

【中澤委員】

現状の観光案内所の位置が本当に分かりづらい。現状では、観光案内所の案内図が必要だと思う。

【町屋委員】

「元JRの駅長室の一部を使用する」という意見はとても素晴らしいと思う。壁を取り去る程度であればそれ程費用は掛からないのではないか。

【泉委員】

先ほどの大型ディスプレイの話だが、それだけで観光案内も出来るし、何千枚の広告が出来る。

【町屋委員】

「えちごトキめき鉄道、上越コンベンション協会等と連携する」と記載されているが、直江津の観光案内所に関しては、上越コンベンション協会から頸城自動車(株)が業務委託を受けているので、今の位置の必然というのが頸城自動車(株)にはあると思う。

【小林委員】

バスの停留所があるため、時刻表や待合室も兼ねているのだと思う。

【町屋委員】

実際問題として、例えば高田駅は、上越観光案内協会が委託を受けている。直江津も今の場所を頸城自動車(株)でそのまま活用してもらって、別の人が手を挙げて別の場所に移るという手がない訳でもない。若しくは、頸城自動車(株)が継続して受託されても良いと思う。

【泉委員】

高田駅の観光案内所もどこにあるか分からず、人も余り来ないので閉じてあると聞いた。

【増田会長】

お金がないので、週末だけ開いているというのが高田の現状である。

【町屋委員】

そう考えると頸城自動車(株)に任せるというのは、ある意味合理性があるのかもしれない。

【増田会長】

全ての元凶は「お金がない」というところから始まっている。13区では、公衆トイレの維持が出来ないから閉めようという話があり、「それはとんでもない」と反発意見が出ているという話もある。

いずれにしても、直江津区地域協議会は「お金がないから云々」ではなく、「こういうことが必要である」ということを前面に出し、行政と話をしていきたいと思っている。

【荒木係長】

「11：環境整備（水族館周辺）」について、委員へ意見を求める。

【増田会長】

これに関してはいろいろとあると思うが、とりあえずは、「草刈くらいはきちんとしてほしい」ということだと思うので、お願いしていきたいと思う。

意見等はあるか。

(意見なし)

【荒木係長】

「12：レンタサイクルの設置」について、委員へ意見等を求める。

(意見なし)

「13：周辺施設（直江津）の利活用」について、委員へ意見等を求める。

(意見なし)

「14：駐車場について」委員へ意見等を求める。

【増田会長】

駐車場に関しては、「J Tの跡地」の話があるが、これは別途でしっかりと話を聞きたいと思っている。J Tのことは状況の変化があり次第、協議会にも報告していただきたいと思う。

レインボーセンターや直江津学びの交流館の駐車場不足も含めて総合的に話をしていきたいと考えている。

【町屋委員】

活用例として「駐車料金の割引」と書いてあるが、これを行政に持たせるのか。それとも町の人に負担してもらうのか。

【増田会長】

「そういうシステムを行政として考えてください」という意味である。

【町屋委員】

では、行政に負担してもらうということか。

【増田会長】

どこが負担するかは分からないが、そういう仕組み作りをしていただきたいということである。

【泉委員】

「割安な仕組みを考えてください」ということである。

【増田会長】

私たちが観光地へ行った時、最初に心配することは、車をどこに止めたらいいのかと

ということなので、そのことを直江津のまちづくりとしてしっかり受け止め、その趣旨で提案していきたいと思っている。

【荒木係長】

「15：お休み処の整備・充実」について、委員へ意見等を求める。

【田村雅春委員】

この意見は私の班で出た意見だが、雁木も狭いが、雁木の前にベンチを置いたらどうかということもある。あえて場所を広く作らなくても、ちょっとしたスペースに椅子を置いて、座る場所を作るということである。

【青山副会長】

関連で、是非、屋台会館にも造っていただきたい。上越市に物産館がいくつもあっていいと思う。直江津に物産館がないので、是非、屋台会館に物産館兼お休み処を造っていただきたい。

【泉委員】

直江津に来て何を買ったらいいのか分からないとよく言われる。

【増田会長】

直江津のお土産センターの話が出たが、御存じのとおり、水族館の中のお土産は水族館グッズしか売らないということになっている。何故かと言うと、地域の商店に遠慮して売らないということである。

【青山副会長】

鮮魚センターを持ってくればいいという意見もあったが、それも含めて屋台会館に造れないものか。

【田村雅春委員】

7月の住民との意見交換会のメンバーに商店の方もいたが、屋台会館を活用して商店のお土産物を置くことに賛成の意見もあった。「商店と競合する場合もあるが、宣伝になれば、将来に亘っても損ではない」と言われていた。

【増田会長】

全くそのとおりである。各商店の商品をお土産センターに全て置けば売り上げも同じである。

今の観光物産センターは狭くて観光物産センターとしては物足りないと感じる。これは上越観光コンベンション協会もそれを十分に承知していると思う。

この話は、上越観光コンベンション協会だけが動いても良いものが出てこないで、行政がしっかり音頭を取っていただきたい。

【荒木係長】

「16：人をまちに呼び込むための方策 店舗等にAEDを設置する」について、委員へ意見等を求める。

【田村雅春委員】

「AEDを備えた自動販売機など…」とあるが、どういうものか。

【町屋委員】

自動販売機にAEDが備え付けられている。お金を入れてAEDを使うということではない。

【田村雅春委員】

どのように出すのか。

【町屋委員】

ガラスの扉になっていて、それを破るだけである。ただ、開ける時に、かなり大きなブザー音が鳴る。

【田村雅春委員】

上越市内にはどこにあるのか。

【町屋委員】

市民プラザ等にある。

【田村雅春委員】

そういうものがあるとは知らなかった。

【町屋委員】

公共施設にしか設置が進んでいないのではないかと。あとはスーパーやコンビニで設置されているところがある。

例えば、近所の方が倒れた時、救急車が来るまでのタイムラグでAEDがあるか、ないかで違ってくる。でも、すぐ傍にあるものではないから、例えば町内会長の家にあると分かっていたら、そこへ行ってAEDを借りる。借りられる場所があるというのが、「安心・安全」に繋がると思ったので意見を出した。

【青山副会長】

マップに入れてもいいのではないかと。

【町屋委員】

上越市の「AEDマップ」というのはある。ただ、夜になると閉まってしまう公共施設が多い。

【小林委員】

町内会館に設置するというのはどうなのか。

【田村雅春委員】

鍵が掛かってしまうから駄目である。

【町屋委員】

そのための自動販売機である。

【中澤委員】

町内でも設置を考えたことがある。ただ、問題は管理である。そして、「設置すれば終わり」ではなく、使用期限があり、更新費用が高く、なかなか設置まで踏み込めなかった。

【増田会長】

以上で終わりだが、全体を通して意見等はあるか。

【泉委員】

「12：レンタサイクルの設置」だが、そろそろ電動自転車でもいいのではないか。

【町屋委員】

そもそも論として、直江津に遊びに来て、「自転車に乗ろう」という人がどれだけいるかというのが一点。私は水族館前の坂を自転車で登ろうとは思わない。

【増田会長】

需要が「ある・なし」ではなく、そういうものがきちんと備えてあるということが、私は大事だと思う。

【泉委員】

今言った話は重要な部分であって、「必要になってから揃える」では遅い。

【中澤委員】

先日、自転車に乗ったが、直江津のまちは自転車で走るまちではない。自転車は車道を走らなければいけないが、車道が狭い。

【泉委員】

中澤委員の話は非常に重要な話だと思う。今の道路の幅員では、自転車は走れない。

今の法律がどんどん強化されたら、自動的に幅員を拡げなければいけない。それを促すためにも、これはあったほうがいいと思う。

【増田会長】

確かに歩道整備というのは必要である。そこへ中澤委員の発言が繋がってくると思う。

【田村雅春委員】

石橋に「ゼブラライン」というのがあったが、それを狭くして自転車道を造った。線を引いただけだが、歩道があり、自転車道があり、車道がある。直江津中等教育学校へ自転車で通う子が多いので、非常に効果があったと思っている。

【町屋委員】

都会へ行くと、歩道・自転車道・車道が分かれている。だが、直江津みたいな狭いまちは幅員を拡げることは難しい。なので、電柱の地中化をしていただきたい。

【田村雅春委員】

電柱は道路に立ててはいけないことになっている。

【増田会長】

これは簡単な問題ではなく、県も絡んでくる。計画的にやろうと進んでおり、地元の要望が優先されると思っている。

「電柱の地中化」も追加意見にしたいと思う。

他に意見等はあるか。

【中澤委員】

「観光振興計画」のことだが、謙信公祭では莫大な経費が付けられているが、直江津祇園祭には全く付けられていない。みんなそういう不満を持っている。その辺も含めて直江津が疎外されているという意識を持ってしまう。

【泉委員】

それは「観光振興計画」とは関係なしに、去年か一昨年に上越商工会議所の会頭が「これからのPRは謙信で行く」と言ったので、その繋がりだと思う。

【町屋委員】

「やろっさ！観光戦略」という上越商工会議所が提案したものがあるが、その元は「第四次観光振興5か年計画」である。上越市を売り出すのに15区を全て売り出すのは難しいので、とにかく上越市に人を呼び込むには、とりあえず高田公園と春日山で呼び込み、あとは個々で頑張ってくださいという内容だったと思う。今度は上越妙高駅が出来た

ので、そこがランドマーク化されて、そこまで人を呼び込むのは上越市の仕事、ということになってくるのは、間違いないと思う。

【中澤委員】

それだけで良いのかと思う。

【町屋委員】

それだけでは駄目なので、では、どうするのかと言ったら、他区の人達と横並びではなくて、「それでは駄目」だと気付いた直江津区は先に声を挙げる。要するに、例えば「上越妙高駅に看板を掲げよう」となった時に、それをみんなが言い出したら、10枚も20枚も並べられないので、気付いた人が我先にと手を挙げるべきだと思う。

【増田会長】

中澤委員が心配していることは、そのとおりであって、その計画に書いてあるものには予算が付くが、書いていないものは予算が付かない、というのが今の実態である。謙信公祭もマンネリ化し、見直ししようということもあるし、ガクトさんが「もう少し自分たちで考えたらどうか」というメッセージを残されているので、それも含めて良い機会だと思うので、地域協議会としても何らかの意思表示をしていく必要があると思っている。

【小林委員】

水族館関係で、今、信越化学のアパートを壊し始めている。そして、上越自動車学校に駐車場を造るのだと思うが、来館者がそこからどうやって今の水族館まで来るのか。考えていると思うが、情報等はないのか。

【増田会長】

それは当地域協議会でも非常に論議してきた点なので、水族館側と然るべく情報交換の場が必要だと思っている。

【町屋委員】

C班の協議の中で「取組の検討案」の中に入れ忘れたものがあったのだが、春日山駅を活用した「パークアンドライド」というものがあった。直江津の街なかに駐車場があまりないが、そもそも車で直江津に入ることが難しくなるのではないかと考えている。私たちがピークの時期になったら、イトーヨーカ堂から駅までの間に渋滞に巻き込まれて動けなくなるのではないかと想定している。国道8号線から水族館まで、30分や1時間掛かってもおかしくない。そうであれば、花見の時は、市役所の駐車場を使って高

田公園までのシャトルバスが出る。しかし、シャトルバスを出しても結局渋滞に巻き込まれるので、週末は、市役所の駐車場を開放してもらい、そこへ車を置き、春日山駅から電車に乗ってもらえれば、直江津駅まで渋滞に合わずに来られる。直江津駅から歩いてもらえれば回遊にも繋がる。

【増田会長】

オープンに向けて、そういうことは当然、検討しなくてはいけないことだと思うので、追加しておきたいと思う。

短期的な取組ではなくても考えなくてはいけないこともあるかと思うので、それも情報として担当課に伝える必要があると思っている。それは皆さんからいただいた意見の中からピックアップしてサブ資料として担当課に伝えていきたいと思う。

【伊藤委員】

皆さん、御存知かもしれないが、大学生が「建築トークイン上越」で話し合った内容を「11月に直江津で地元の人を招き報告会を開きたい」となっているが、会長や事務局にそういう話が来ているか。

大学生が考えていることと、我々が考えていることが似ているので、是非、聞きたいと思っている。

【青山副会長】

あれは、自分たちが家を造る時に、雪国の家の建て方はどうか、という話ではなかったか。

【伊藤委員】

それに因んで雁木の問題等の意見が出ているので、我々と考えていることが似ていると思った。

【増田会長】

私もよく把握していないので、事務局で伊藤委員が持っている資料（新聞記事）をコピーし、皆さんに情報として提供していただきたい。

今回は、「我々はこういうことを考えている」ことに対して、担当課がどういうふうを考えているのかということを知り、皆さんにフィードバックするという内容の協議会になると思っている。

今、行政は、10月末が予算の締切で、各課の取りまとめたものを財政課に提出している。その後、財政課と協議となるが、地域協議会の意見も反映できることは入ってい

ただきたいと考えている。

【田村雅春委員】

市に意見書として出したほうがいいのではないかと。

【増田会長】

それは、担当課と意見を擦り合わせ、感触を得た上で考えたい。

【田村雅春委員】

仮に市長に意見書を出せば、市長が担当課に指示を出すのではないかと。

【増田会長】

成功させるためには、担当課と協議を重ね、然るべく根回しをしてから提出しないと
いけないと思っている。

【泉委員】

お互いに迷惑が掛からないような根回しも重要だと思うので、注意しながらやらなければ
ならない。

【田村雅春委員】

民間にお願いしなければいけないこともあるから、私もその辺が悩ましい所だと思う。

【増田会長】

心配されることもあると思うが、今は、行政が関係する部分で予算化をお願いするとい
う話をしている。

相手のある話なので、何が何でも押し通そうとは思っていない。十分話し合いをしながら
進めて行きたいと思っている。進めるにあたっての基本的な心構えは、そう簡単に
「はい」と言うのではなく、しっかりと意見を言っていきたいと思っている。

【中澤委員】

是非、予算化に繋げていただきたいと思っている。

【泉委員】

事務局では、どれくらいの金額になるという話をしているのか。

【荒木係長】

概算も出ていないので、伝えてはいない。

【泉委員】

我々もここまでやっているが、過大に期待してもいけないが、終わらせるわけにもい
かない。一方で批判されるようなやり方は控えなければいけない。

【増田会長】

最後の詰めは、正・副会長で詰めるか、そこに班長さんも入ってもらうか、ということ想定している。

いずれにしても、私たちは、地元の方や団体の方の意見を背に受けていることをしっかりと強調していきたいと思っている。

次回協議会について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・次回協議会の開催日案：11月11日（水）、12日（木）

— 日程調整 —

【増田会長】

- ・次回協議会：11月13日（金）午後6時～
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。